

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2004

Vol-1

67



表紙写真：
雪の白川郷
(岐阜県白川村)

とれ行け!! 安全くん

「安全には対話が大切!?!」の巻

●解説コーナー

「建設従事者教育について」

「寒さ対策/防寒グッズ」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.7

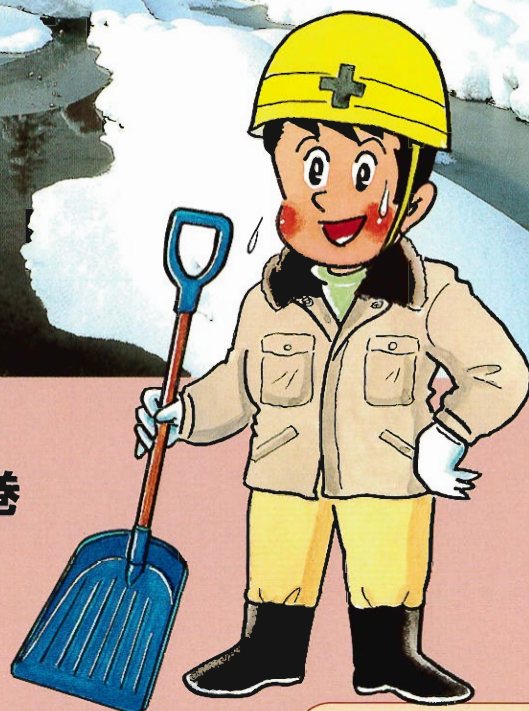
「狙うは「こっそりヘルシーに…」」

●NISHIO TOPICS

LED情報パネル“LIP-3C”レンタル展開中!

●お知らせ・情報コーナー

「国土交通省/直轄工事でコンクリート構造物の品質確保強化の方向へ」



インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>



〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!! 安全くん

画 中村よしのぶ

連載 その67



「安全には対話が大切!？」の巻





解説 コーナー

建設従事者教育について -その1-

～労働者のヒューマンエラーを防止したい～

平成15年3月に国土交通省から出されました「平成15年度における建設工事事故防止のための重点対策の実施について」の中で、「Ⅰ．発注者が実施する対策」と「Ⅱ．関係業団体が実施する対策」という内容があり、今回ご紹介する建設従事者教育についても以下のように記載されています。なお、これは厚生労働省とも連携をとって進められており、事業者だけでなく労働者のヒューマンエラーによる災害を減らすことを目指しています。

6. 各種事故共通重点対策

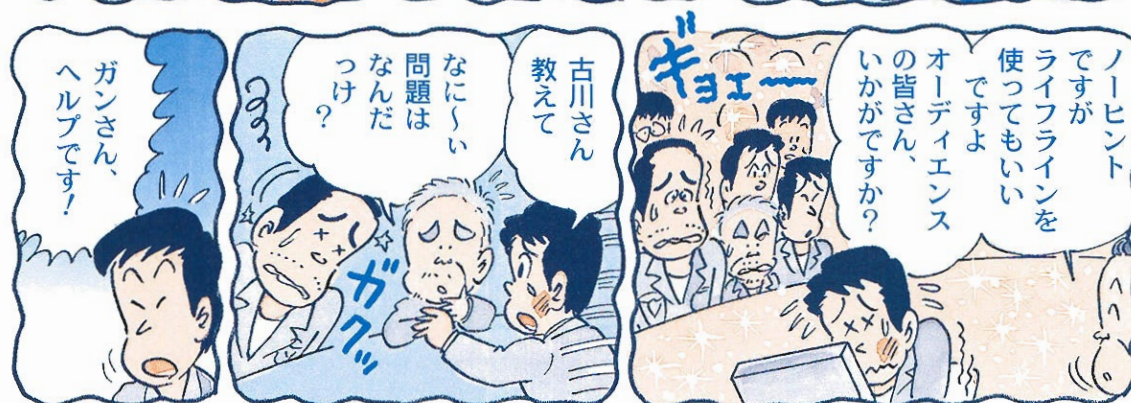
(1) 現場管理者、技能者、建設従事者等を対象とした安全教育の推進

ア. 建設従事者に対する安全衛生教育の実施

関係業団体は、会員各社に対して労働者の不安全行動の防止の観点から労働者が守らなければならない事項等を周知徹底するため厚生労働省が推奨している建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく建設従事者に対する安全衛生教育を受けるよう働きかける。なお、直轄工事においては、一定規模以上（常時労働者が20人以上）の現場では、工事着手後早期に、例えば、外部機関（建設業労働災害防止協会等）を活用した当該教育を実施するよう働きかける。

◆これを受けて建設業労働災害防止協会（略称：建災防）では、教育のカリキュラムの策定（次頁に掲載）や講師の育成、教材の作成などを進め、一部の支部（都道府県単位）では、建設会社からの要請によりこの建設従事者教育を実施されています。詳しくは、建災防各支部までお問い合わせください。

ホームページでも紹介されています。 <http://www.kensaibou.or.jp/>



ガンさんのワンポイントレッスン

『若いメンバーを“お客さん”扱いしていませんか?』

頭からそう思い込んでいた、何故か勘違いしていた、ややこしそうなので覚えようとしなかった、深く考えたことがなかった、まるで気にしていなかった、自分に関係ないと思った、無意識にそうしていた、いつもの習慣でなんとなくやった、危ないと思わなかった、誰かがやと思っていた、注意されなかったの…



何らかのトラブルが発生した時、その理由や状況を聞くと、このような言葉が出てくることがよくあります。いわゆる「当事者意識」が欠けており、常に「現実逃避」をしている。仕事やチームになじめないまま「部外者」「傍観者」のポジションをとっている。そんなイメージではないでしょうか。

このような若者たち（この頃は、若者に限らないようですが…）を苦手とする職人気質の職長さんは、ややもすると「お客さん」扱いしがち。どうしても叱ることや注意ができず、突っ込んだ説明も仕事を与えることもできない。そんな気分が相手に伝わり、さらに疎外感を与えてしまう。

ある人によれば、「当事者意識とは、自分の役割に応じた意欲と責任を持つことである」とされています。そしてこの当事者意識がないと、問題解決が進まず安全活動自体もなんら効果の無いものになりそうです。

メンバー全員が仕事や安全の当事者として、互いに厳しく指摘しあい助け合えるようなチームにしていくことが職長に期待されています。



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

エアツールの選定ポイント

高圧のエアを使用する工具は、選定を誤ると能力が十分に発揮できません。特に複数のツールを使用する場合は注意してください。

□選定の目安

使用するコンプレッサの吐出空気量は、同時に使用するエアツールの全消費量より20%位余裕が必要。仕様の消費量は新品の状態で、ブレーカは使用頻度が高いと摩耗による漏れで空気消費量が大きくなるのでご注意ください。

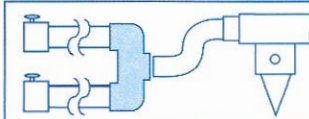
□ホースの延長はエア損失に注意!

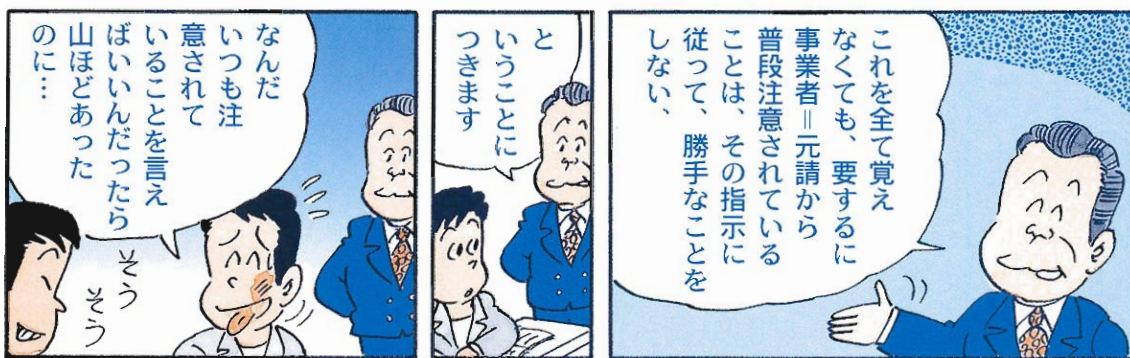
エアツールの通常使用空気圧は5~7kg/cm²の間です。ゴム製エアホースは延長すると右表の様にエア圧が損失します。20kgブレーカ1台1.5m³/minを2台同時に使うと、100m先で4.67kg/cm²に落ち通常使用空気圧の5~7kg/cm²を下回り打撃力が低下します。どうしても遠くで使用する際は、ホースをダブルで使用する(右図)すると、通常の長さの1.8倍まで使えます。(別途: 三又継手要)

●ホース径: 3/4 (内径19mm) の場合

ホース長さ (m)	消費空気量 (1.5m ³ /min・台)	
	1台	2台
50	6.63	5.83
100	6.27	4.67
200	5.54	2.33

(kg/cm²)





肌着で冬を暖かく

ひたひたと本格的な冬が近づいています。地球温暖化といわれているにもかかわらず、現代人には「寒がり」が増えているとか。この冬の寒さ対策は万全ですか？でも、たくさん着込んだだけでは、見た目が悪いだけでなく、動作も鈍くなります。では、一体どうすればいいのでしょうか？

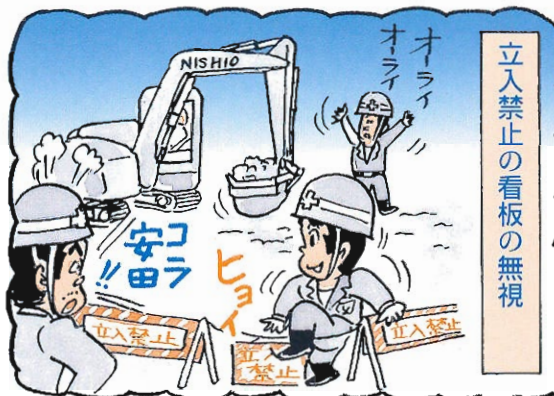
●着ぶくれせずに暖かく＆カッコよくのコツ

①薄くて温かい「保温下着」に注目

寒いときは、体の中心を温めるのが一番大切なポイント。軽くて伸縮性のある素材で、ワンサイズ大きい保温下着を選びましょう。小さいサイズだと、着たときに繊維が伸びて目が広がり、通気性がよくなって保温効果が落ちるのでご注意ください。マイナスイオン、遠赤外線効果、吸湿発熱素材など、新しい機能をプラスしたスグレモノも相次いで発売されています。

②首の開口部を閉じること

下着によって温められた空気は、体の表面を這うようにして首のほうへ上がってきます。つまり、温かい空気を逃さないように、首回りの開きを少なくしなければなりません。その点、タートルネックは大変有効。「タートルネックのセーターは首がチカチカして苦手」という方は、下にハイネックタイプの肌着を着れば安心です。



SAFETY CHECK セーフティチェック エンジンチェーンソーの危険!

建築現場や造園作業で丸太や角材等木材の切断に広く使用されるチェーンソー。今回はエンジンチェーンソーの危険と点検ポイントをまとめてみましょう。

①跳ね返り(キックバック)による事故

ガイドバーが木に挟まれてソーチェーンが動かなくなった時、エンジンの回転を上げると急にチェーンソーが後方に押し出され危険です。またガイドの先端が木や枝、地面に接触すると瞬間的にガイドバーが作業者の上に跳ね返ってくる恐れがあります。チェーンソーは両手でしっかり握り操作をしてください。

②安全作業のポイント

- ①作業前の各部の点検
 - ・各部品の取付け、特にガイドバーとソーチェーンの取り付け状態は要点検。
- ②始動時の確認
 - ・ソーチェーンが障害物に触れていないか、又作業範囲内に人がいないか。
 - ・チェーンオイルが正常に出ているか、回転数を上げ目視。
 - ・伐倒時は周囲をきれいに足場を確保し作業領域内に人を入れないこと。

松脂等の粘りが強い樹木の伐木は、刃の切れ味が悪くなるので注意。裾じまりの良い作業服と保護めがね、防振手袋、安全靴、すね当て等の保護具もお忘れなく。



